

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 集計結果・改善案

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見等
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		3	3	・平日と長期休みでは利用人数も利用時間も違うので「はい」とは言えない。
	2	職員の配置数は適切であるか	1	3	2	・平日と長期休みでは利用人数も利用時間も違うので「はい」とは言えない。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	3	・スロープから車までの間でデコボコ。渡り廊下に屋根が無く雨の日は濡れる。 ・バリアフリー設計になっている。現在もスロープ周辺の舗装工事を予定している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		6		・決まった様式などは使用していない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		6		・児童ルーム周辺の舗装工事の計画はされており、4月中旬以降に工事を行う。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		3	3	・これまでは公開の義務が無かったため、公開していないが、今年度から公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	3	・第三者評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1	1	・毎月の職員会議内で研修を行っている他、外部研修へもできる限り参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	4		・支援計画を全員で情報共有する機会が設けられないが、職員であればいつでも閲覧可能である。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		5	1	・現在使用しているものもあるが、最善のものを模索段階である。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	3	1	・職員がそれぞれ活動を考え、全員で取り組んでいる。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	4		・新しい情報やプログラムなどを取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	5		・”課題”という課題は設定しないが、子どもが楽しみながら学ぶことができる活動を考えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	4		・状況や状態を考慮している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		4	2	・打ち合わせの時間を取ってもらいたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		3	3	・打ち合わせの時間を取ってもらいたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	4		・記録は取っているが改善にはつながっていないと感じることもある。
18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	3	1	・年に2回、保護者との面談を行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		5	1	・これまでの支援方法がガイドラインに記載されているため、ガイドラインを改めて見直すことが無い。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	4	2		・児童発達支援管理責任者が参加するようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			・学校側の配慮もあり、下校時の口頭での申し送りだけでなく、文書でも頂いている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	4		・主治医に医療的ケアの指示書を頂いている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども苑、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2		・極力情報共有はしたいと考えているが、お互いの施設の繁忙期が丁度重なっており、情報共有も出来ない場合もある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	5		・同施設内の別サービスへの移行時には情報共有しているが、別事業所へは要請がない限り、行っていない。

	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		2	4	・近くに機関がなく、気軽に相談ができない場所にしかない。
関係機関や保護者との連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	5	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	3	1	・長期休業等でない限り参加している。
	28	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1		・送迎の際など、口頭での申し送りの他、連絡帳を活用している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		4	2	・相談があればその都度対応しているが、ペアトレほど形式ばったものではない。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	4		・説明はしているが、覚えていない家庭が多い。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	3		・必要に応じて行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか		2	4	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	3		・利用契約等にも明記している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1		・毎月会報を発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	1		・個人情報に関するものは、職員室にて管理している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	2		・言語以外でのコミュニケーション方法も取り入れている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	4		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			・各種マニュアルは作成している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	3	2	・年に2回、災害訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	3	2	・研修を年間計画に盛り込んでいる。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	3	2	・国や県の研修を受けた職員が、施設内で研修報告を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2		・今は無いが、以前はアレルギーを持った子が居たため、除去食を提供していた。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	2	1	・行っている。	